

特別支援教育の理解

個々に応じた支援と家庭支援

提案者：染野 冴佳　　相田 和子

（ 認定こども園 八千代ひかり幼稚園 ）

認定こども園八千代ひかり幼稚園

- 昭和55年、幼児に適切な保育環境を備え、心を込めて教育することによって、未来に向けて自主的で創造性豊かな思いやりのある人に育ってくださることを願い、学校法人おがわ学院八千代ひかり幼稚園として認可を受け、設立されました。

• 本園の教育目標

- * 思いやりのある子
- * 決まりのまもれる子
- * 考える子

• 園児数

156名

園舎・園庭



事例検討

～今回当園で気になる子3名をお話しさせていただきます～

① Aさん

- 4歳児 女の子
- 年少より入園

- 園生活で声を発さない
- 場面緘黙（ばめんかんもく）

- 家族構成
本人 母 兄 祖父 祖母 伯母

Aさん 言語理解

- 4月 入園
- 入園当初…保育者をよく見ているが、行動に移すことが難しい。
- 1学期前半…個別に声を掛け、一対一で支援をする。
- 1学期後半…他の子を見て、準備をしたり活動に取り組めるようになる。
- 2学期…全体にした話を聞いてすぐに行動に移すことができるようになる。
- 3学期…1対1の支援は必要なく行動できるようになる。
- 今年度…1対1の支援は必要なく行動できている。

Aさん 年少 生活の様子

- 園では言葉を一言も発さない。（笑い声、泣き声もない）
- 仲の良い友だちへは自分から近寄ることができ、声は発さないが楽しそうに遊んでいる。
- みんなと一緒に言うカードあそびや歌は、口が動いて楽しそうに参加しているので声を出している可能性あり。
- 1対1になると目線が合わないが、尋ねた事に頷きはある。
- おむつを使用している。排泄を訴えることはない。
- 偏食で白米と汁物の汁しか食べない。

Aさん 年少 保育者の関わり

関わり

Aさんの反応

★前提：無理に喋らせない。本人の気持ちを尊重

- こちらからすべて促すのではなく、本人が考えられるよう、まずは疑問形で尋ねてみる。 ⇒ • 反応はない。
- その後選択肢を出したり、はいかいいえで答えられるように聞く。 ⇒ • はいの時は頷き、いいえの時は首振りであげてくれるようになる。
- 食事面で、おかずの断面を見せたり、触ってみて感触を確かめたりと食事に興味を持てるように声を掛けた。 ⇒ • 3学期には野菜が数種類、他のおかずもなんでも一口は食べられるようになる。

Aさん 年少 保護者との関わり

- 園バス利用の方のため、頻繁に顔を合わせることが難しかった。
- 園でなかなか言葉が出ないことを伝える→やっぱり…と。
しかし、家庭では話をしていることからか、あまり気にしていない様子であった。
- 保護者が安心できるよう、声は発さずとも気の合う友だちはおり、一緒に遊ぶ姿があることを伝える。
- トイレトレーニングに悩んでいるようである。

Aさん 年中 現在の様子

- みんなと一緒に集団行動が出来る。
- 気の合う友だちとは、活発に遊び、笑顔も見られる。
 - ↳ 対友だちとの関わりの中でもまだ言葉は出ない
- お礼など「ありがとう」と保育者が言うと、それに続いて口のみが動く様子が時々でてきた。
- 食事に関しても食べられるものが増えてきた。
- トイレトレーニングはまだ難しい。☆保育者に教える練習中
- 日中はみんなと同じタイミングで便座に座る経験をする。

Aさん 現在 保育者の関わり

- 毎日の挨拶やアイコンタクトを大切にする。
- 言葉ではなく動きでコミュニケーションをとってみる。
「おはよう」「ありがとう」→おじぎをする
「さようなら」→手を振る etc...
- トイレトレーニングに向けたトントン練習
 - ①オムツにでた→トントンと先生をたたく
 - ②おしっこ出そう→トントン

🌸教えてくれてありがとう！を伝える。
- 一緒にトイレに行き、便座に座る様子を見守る→🌸褒める

Aさん 現在 保護者との関わり

- 園で出来るようになったことを伝えるようにしている。
- 市の施設への相談は現状考えていない。
- 保護者との連絡を定期的にすることを心掛けるようにする。

※課題

- 待っていればAさんは心を開くのか
 - こちらの働きかけでAさんは変わるのか
 - 保護者から保育者への希望はあるのか
- } 保護者との連絡を密に取りながら、知っていく必要がある。

Aさん 今後の支援

- 言葉が出るといいなとチャンスを待つ。
- もし声が聞こえても過剰な反応をしない。
- 安心できる人、環境を作っていく。

事例検討

～Bくん～

② Bくん

- 4歳児 男の子
- 0歳児から入園

- 友だちとの関わりが苦手
- 集団行動が苦手

- 家族構成
本人 父 母

Bくん 言語理解

〈年少〉

- 自分の話をするのが好きだが、一方的である。
- 保育者と1対1で会話をすると、話す内容は理解しているようである。
- 全体に向けて指示した際には行動に移すことは難しい。

〈年中〉

- 全体に向けた指示にも反応し、行動できることが増えている。
- 🌸成長と共に聞く力は育ってきているようである。

Bくん 年少以前の様子

- 0歳児…情緒が安定していて友だちと楽しく過ごしている。
- 1歳児…周りに流されることなく、自分のペースで動いている。
- 2歳児…場面の切り替えが難しく、特に戸外からの入室は時間がかかり、納得するまで外に居ることが多い。
 - …友だちの遊んでいる物を取ったり、気に入らないと手が出てしまいトラブルが多い。
 - …自分の思い通りにならないと大きな声で泣き、なかなか泣き止まない。

Bくん 年少 生活の様子

- 体を動かすこと、自分の好きな遊びに夢中になれる。
 - 思い通りにならないことがあると、すぐにカッとなり、大声で叫ぶ、泣く。友だちを叩く、唾を吐く、物を投げる。
 - 集団行動が難しく、一斉指示が通らない。気になる方へ行ってしまう、好きなことをしている。
 - 準備や片付け等へ切り替えがうまく出来ず、時間が掛かる。
 - 活動中や食事時の離席がある。
 - 目線が合わない。指示されたことに頷いてもすぐに違うことへ興味が向いてしまう。
- ◆ 同じクラスに集団から外れてしまう子がおり、その子が憧れの対象となっていた為、自分もそうしてみたいと真似をしていた部分もあるのかもしれない。

Bくん 年少 保育者の関わり

関わり

- 指示は簡潔な言葉とジェスチャーで伝える。
- 危険な行動をしなかった時やみんなと一緒に出来た時に褒める。
- 場面の切り替えが難しいときは、何秒でできるか、先生と競争などとあそび感覚で行ってみる。

Bくんの反応

- ⇒ • 出来た時に○のジェスチャーをすると嬉しそうにする。
- ⇒ • 3学期になると「ぼく出来たよ」自ら集団に入ることが出来る日が増える。
- ⇒ • 初めは切り替えができたが、慣れて来ると、先生が来るまで待っていることがある。

☹️失敗…

Bくん 年少 保護者との関わり

- 園での良い姿を中心に伝える。
- Bくんのしつけに対して父親が厳しいところがあるようです。

★気をつけたこと

- だめなこと、出来ないことをそのまま伝えない。
- 頑張った過程を伝えるようにした。

Bくん 年中 現在の様子

- 体を動かすことが好き。サッカーに夢中。
- 活動中や食事時の離席はほとんどない。
- 集中できる時間が長くなった。
 - ✿年少時、共鳴し合ってしまう子がいたが、年中になりクラスが離れた事で、意識する対象がなくなったからかもしれない。
- 思い通りにならないことがあると、カッとなり手が出る。
- 特に好きなことをしている時の片付けへは、切り替えがうまく出来ず時間が掛かる。
- 一対一になると目線は合わない。自分の事を話している時には保育者をよく見ている。

Bくん 現在 保育者の関わり

- これは○、これは×のメリハリをつける。学年関係なくどの先生も同じ関わりで。→共通理解が課題である。
- 叱りすぎない。多くを望まない。スモールステップ。
- 席の工夫。保育者しか見えない位置。周りは落ち着いている子にする。
- 集中が散漫したら名前を呼んで戻してあげる。
- たくさん認め言葉を掛ける。

Bくん 現在 保護者との関わり

- 厳しくしたら何とかかなると思っているのかもしれない。
→この方法がうまくいった！を保護者へ伝えて行く。
- 園で出来たこと、頑張っていることを伝える。
- 家庭での様子も教えていただくようにする。

Bくん 今後の支援

- 叩かなくて済む手立てを伝える。
例：ジェスチャーでやめて！→言えたね、叩かなかったね。
- これくらい出来て当たり前ではなく、出来た瞬間を見逃さず、褒め認め言葉をたくさん掛けて自信に繋げていく。

事例検討

～Cくん～

③ Cくん

- 3歳児 男の子
- 0歳児から入園
- 3歳児になり系列の保育園から進級
- 2歳児1月、3歳児6月初めに発達相談へ行く。
- 家族構成
本人 父 母 弟

Cくん 言語理解

- 自分の話をするのが好きだが、一方的である。
- 保育者と1対1で会話をすると、話す内容は理解しているようである。
- 全体に向けて指示した際には行動に移すことが難しい。
- 「こうしたい」と自分の要求は強く主張する。

Cくん 年少以前の様子

- 0歳児…泣いていてもおもちゃ等で切り替えができる。
…頭をドアに打ち付けドンドンと音を出すことを楽しんでいる様子がある。
- 1歳児…木の実を見つけると口の中に入れる。
…8月、動きが激しくなり、手を出すことが増える。
- 2歳児…保育者の言葉は理解しているが行動に移す事が難しい。
…こだわりが強く、泣き始めると納得するまで時間がかかる。

Cくん 年少以前 保育者の関わり

関わり

- 戸外に出て行ってしまった時、なぜ出て行ってしまったのかを聞く。
- どうしていけないのか理由も簡潔に伝えるようにする。
- 注意や指摘の言葉が多くなってしまった。😞反省点…

Cくんの反応

- ⇒ • お花に水をあげたかった等
★理由があった
- ⇒ • 分かったと言うも、その後の行動と合っていない。
- ⇒ • 気を引きたいのか分かった上でいたずらをする場面も何度かあった。

Cくん 年少 現在の様子

- 好奇心旺盛で色々なことに興味がある。
- じっとしていることが難しく、常に動いている。
- 衝動的に走って部屋から飛び出すことが1日に何度もある。
→保育者が追いかけてくることを楽しんでいるようにも見える。
- 思い通りにならないことがあると癇癢を起こし、頑固である。
- 言葉ははっきりしており、自分の話や欲求は伝えることができる。
- 身の回りのことは一通り自分で出来るが、興味に移りやすい為支援が必要である。

Cくん 現在 保育者の関わり

関わり

- みんなと一緒に出来たことを大いに褒める。
- 危険なことをしたときは、感情的にならず、静かに淡々と伝える。
- 飛び出した際、追いかけないで目でのみ追う。

Cくんの反応

- ⇒ • 嬉しそうにし、その場にとどまる時間が長くなる。
- ⇒ • 全部ではないが聞き入れられることがある。
- ⇒ • 出てしまっても、遠くへ行きすぎず、戻れることが増えてきている。

Cくん 保護者との関わり

- 両親ともに本人へは積極的に声掛けをしながら関わっている。
- 2歳児…寝る前の絵本読みをお願いします。

※現在

- お迎えの際にその日の様子を伝えるようにする。
- 発達相談に行った時の内容を教えていただく。

Cくん 今後の支援

- 部屋にいられる工夫→コーナーを作ってみる。
- いかにながままに乗らないか。
- 出来た時には褒め、自信をつけて行く。

課題

- どの事例にも共通しての課題は園全体での共通理解
- 園の職員全員が同じ対応をする事
- 飛び出しに関して追いかけないことも保育であるという認識
- **園と家庭で子どもの姿を共有すること**

ありがとうございました